

研究機関：広島大学

研究課題名	慢性腎臓病においてクロールが血圧ならびに尿蛋白に与える影響の検討
研究責任者名	広島大学病院 腎臓内科 教授 正木崇生
研究期間	2019年 4月 1日（倫理委員会承認後）～ 2024年 3月 31日
対象者	2011年4月～2019年3月の間に、高クロール血症を合併し、広島大学病院腎臓内科で少なくとも半年間は慢性腎臓病の治療を受けられた患者。
意義・目的	<p>高血圧や尿蛋白は慢性腎臓病の発症や進展の危険因子であることが明らかになっています。</p> <p>その機序の1つとして、腎臓におけるクロールの再吸収が高血圧の発症・維持ならびに腎障害の一旦を担っている可能性が指摘されていますが、その詳細についてはまだ解明されていません。</p> <p>今回、高クロール血症の慢性腎臓病の患者さんにおいて、クロールと血圧や尿蛋白との関係を明らかにし、腎臓病に対して治療介入を行うことで、クロールの推移や、血圧や尿蛋白をはじめとする臨床背景因子との関連について明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、病名、合併症、初診日、再診日、血圧、血液検査（ヘモグロビン、血清クレアチニン、BUN、eGFR、尿酸、血清アルブミン、総コレステロール、HDLコレステロール、non-HDLコレステロール、HbA1c、Na、Cl、K）、尿検査（尿蛋白、尿クレアチニン）、内服薬、治療内容、治療経過</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 腎臓内科 教授 正木崇生
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。（モニタリング有の場合）ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-1506</p> <p>広島大学病院 腎臓内科 教授 正木 崇生（研究責任者）</p> <p>広島大学病院 透析内科 診療講師 田村 亮（研究担当者）</p>